

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和04年06月17日

計画の名称	伊豆市下水道施設防災対策事業（防災・安全）													
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	伊豆市													
計画の目標	湯ヶ島クリーンセンターの既存設備の長寿命化を図り、計画的な改築を進めていくことにより効率的な安全・安心を確保する。 白岩浄化センターの防災・安全を図り、計画的な改築を進めるため、耐震診断を実施する。 湯ヶ島クリーンセンターの防災・安全を図るため、耐震化を実施する。 白岩浄化センターの防災・安全を図るため、耐震化を実施する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		441	A	441	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H27当初）	（H29末）	（H31末）
1	湯ヶ島クリーンセンターについて長寿命化工事実施率を0.0％（H27）から100.0％（H31）に増加。 長寿命化工事実施率（％）＝（長寿命化工事実施施設数（箇所））／（全体施設数（箇所））			
		0%	%	100%
2	白岩浄化センターについて耐震診断実施率を0.0％（H29当初）から100.0％（H30末）に増加。 耐震診断実施率（％）＝（耐震診断実施施設数（箇所））／（全体施設数（箇所））			
		0%	50%	100%
3	湯ヶ島クリーンセンターについて耐震化設計実施率を25.0％（R1）から100.0％（R1末）に増加。 耐震化設計実施率（％）＝（耐震化設計実施施設数（箇所））／（全体施設数（箇所））			
		0%	0%	100%
4	白岩浄化センターについて耐震化設計実施率を0.0％（R1）から60.0％（R1末）に増加。 耐震化設計実施率（％）＝（耐震化設計実施施設数（箇所））／（全体施設数（箇所））			
		0%	0%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	終末処 理場	改築	湯ヶ島クリーンセンター 整備（長寿命化）	長寿命化設計・工事	伊豆市	■	■	■	■	■	355		策定済
	A07-002	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	終末処 理場	改築	白岩浄化センター整備（ 耐震診断）	耐震診断	伊豆市			■	■		50		-
	A07-003	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	終末処 理場	改築	湯ヶ島クリーンセンター 整備（耐震化）	耐震化設計	伊豆市					■	11		-
	A07-004	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	終末処 理場	改築	白岩浄化センター整備（ 耐震化）	耐震化設計	伊豆市			■			25		-
											小計						441		
										合計							441		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
伊豆市建設部において事後評価を実施。また外部有識者（静岡大学工学部教授）に意見聴取を実施。	令和4年3月
	公表の方法
	伊豆市ホームページ

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・湯ヶ島クリーンセンターでは、水処理設備、汚泥処理設備、電気計装設備の改築を実施したことにより、長寿命化工事実施率を78%とすることができた。 ・白岩浄化センターでは、全ての設備で耐震診断を実施し、耐震診断実施率を100%とすることができた。 ・湯ヶ島クリーンセンターでは、沈砂池ポンプ棟土木部の耐震設計を実施し、耐震設計実施率を50%とすることができた。 ・白岩浄化センターでは、分配槽、管理汚泥棟、最終沈殿池の耐震設計を実施し、耐震設計実施率を60%とすることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

- ・湯ヶ島クリーンセンターの長寿命化対策、耐震化対策は次期計画において、計画的な改築更新に努めていく。
- ・白岩浄化センターの耐震化対策は、次期計画において、ストックマネジメント計画と調整の上、計画的な改築更新に努めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	長寿命化工事実施率（％）		
	最 終 目標値	100％	沈砂池設備、沈砂池ポンプ棟建築部の改築工事について、ポンプ設備の改築、管理汚泥棟土木部の耐震と合わせて次期計画にて実施するようスケジュールを見直したため。
	最 終 実績値	78％	
2	耐震診断実施率（％）		
	最 終 目標値	100％	
	最 終 実績値	100％	
3	耐震設計実施率（％）		
	最 終 目標値	100％	回分槽土木部と管理汚泥棟土木部の耐震設計について、機械設備の改築と合わせて次期計画にて実施するようスケジュールを見直したため。
	最 終 実績値	50％	
4	耐震設計実施率（％）		
	最 終 目標値	60％	
	最 終 実績値	60％	

計画の名称	伊豆市下水道施設防災対策事業（防災・安全）		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	静岡県伊豆市

